

せとのお茶

平成30年7月発行 第149号

公益社団法人 青少年育成広島県民会議

〒730-8511 広島市中区基町10-52 広島県環境県民局県民活動課内

TEL.082-513-2742 FAX.082-511-2173

<http://www.hiro-payd.or.jp>

題字／茶道 上田宗簡流 第十六代家元 上田宗岡

平成30年度 「青少年育成県民運動推進大会」を開催します!

平成30年10月27日(土) 13:00~15:40

広島県民文化センター 多目的ホール

(広島市中区大手町1丁目5-3 ☎082-245-2311)

今年度の『青少年育成県民運動推進大会』は、平成30年10月27日(土)に広島県民文化センター 多目的ホールにおいて開催します。

大会では、青少年健全育成成功労者や家庭の日に関する作品の県知事表彰をはじめ、青少年による活動発表を行います。

また、デュオ・三木(ピアニスト 三木 健嗣さん、ヴァイオリニスト 三木 登志江さん)による演奏会を開催します。

皆さまのご参加をお待ちしています。入場無料。



昨年度の様子

少年の主張意見発表

「少年の主張」・中学生話し方大会2017
広島県知事賞・国立青少年教育振興機構努力賞受賞

「本当の0(ゼロ)」

広島市立舟入高等学校 1年 みちだ たけのり 道田 武憲さん

※受賞時は広島市立城山中学校3年

昨年開催した第39回少年の主張広島県大会・第51回中学生話し方大会において広島県知事賞を受賞した広島市立舟入高等学校1年 道田 武憲さんが犬や猫の殺処分について考え、取り組んだことを発表します。



平成29年度発表の様子



県大会受賞の様子

〈青少年活動発表〉 くまのの絵本作り隊(熊野町)



熊野町町制施行100周年記念事業として、熊野町に語り継がれてきた言い伝えなどを絵本にするため、平成29年度に公募で集まった町内の小学4年生から6年生、13人で結成しました。

絵本作りは初めてでしたが、絵本の題材探しや、お話作り、絵を描いたり色を塗る作業など、みんなで力を合わせ、一生懸命に取り組み、3冊の絵本「熊野の筆づくり」、「ゆるぎ観音」、「佐太夫伝説」を作成しました。

たくさんの人たちに、私たちの作った絵本を読んでもらえたら嬉しいです。



絵本の題材探し



絵本を作っているところ

《大会プログラム》

- 13:00 開会
国歌斉唱
・開会挨拶 (公社)青少年育成広島県民会議会長
・来賓祝辞 広島県知事
広島県議会議長
・表彰 青少年健全育成成功労者等知事表彰
家庭の日に関する作品の知事表彰
- 13:30 少年の主張意見発表
「少年の主張」・中学生話し方大会2017
広島県知事賞受賞・国立青少年教育振興機構努力賞受賞
「本当の0(ゼロ)」
広島市立舟入高等学校 1年 道田武憲さん
- 13:40 青少年活動発表
「くまのの絵本作り隊」(熊野町)
- 14:10 演奏会
出演者 デュオ三木 三木健嗣さん(ピアノ)
三木登志江さん(ヴァイオリン)
- 15:40 閉会
・閉会挨拶 (公社)青少年育成広島県民会議副会長

演奏会

旅する音楽家 デュオ・三木

1974年に結成し、「旅する音楽家」として国内外で演奏活動を続けられています。1990年のウィーンでのリサイタルをきっかけにヨーロッパ各地を訪問。また、韓国・内モンゴル・中国各地・台湾からもたびたび招聘されて演奏するなど、音楽国際文化交流を30年以上続けられています。2004年にはアルゼンチンの「マラガアルネラ・タンゴ楽団」と競演し、翌年には三木登志江さんが同トリオのヴァイオリンソリストとして参加され、各地で行われたコンサートで絶賛されました。クラシック音楽の演奏家として、ロマ（ジプシー）音楽、タンゴ、韓国や中国の伝承歌や日本の民謡など、世界の民族音楽を多くの人に伝えることをライフワークにされています。

そんなお二人の演奏を存分にご堪能いただけます。

福山市で子育て支援コンサート
「音のおもちゃ箱」を
35年間にわたり開催しています。

<主な受賞・表彰歴>

- ・1992年 『福山善行市民賞』受賞
 - ・1993年 『福山市文化賞』受賞
大阪国際室内楽コンクール「特別賞」受賞
 - ・1994年 広島県「響きの祭典」にて「最優秀賞」受賞
 - ・1998年 福山ロータリークラブより『労働奉仕』に対して表彰
 - ・2000年 万里の長城杯コンクール「2位入賞」(1位なし)
 - ・2016年 「公益社団法人青少年育成広島県会議」より「会長賞」受賞
- その他、韓国、台湾より感謝状が贈られる



三木 登志江 Miki Toshie / Violin

家族とゆるキャラ「イクちゃん」と「ゆっぴー」を愛する天真爛漫な寅(とら)年のB型。子育て支援コンサートにも力を注ぎ、『母の音色と女の音色』を自由自在に操るヴァイオリニスト。東京芸術大学附属高校では、学内オーケストラのコンサートミストレスを努めた。武蔵野音楽大学在学中から、東京モーツァルト合奏団の主要ソリストメンバーとして、各地で演奏。以後、ベルリン室内合奏団、広島交響楽団、新ヴィヴァルディ合奏団、テレマン室内管弦楽団、韓国・浦項市立交響楽団等、多数のオーケストラと共演。日本はもとより、アジアを中心に国際交流を続けている。



三木 健嗣 Miki Kenji / Piano

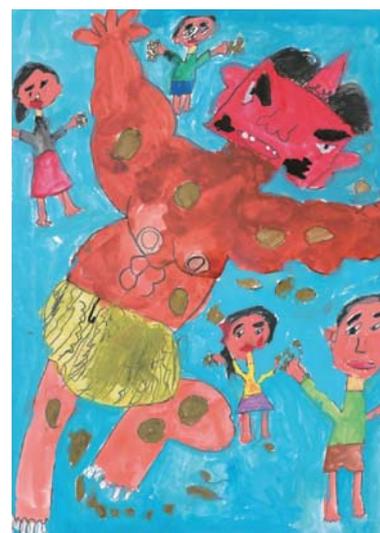
「音楽は、医者も治せない病気が治せる」という師の言葉を胸に秘めるピアニスト。闘魂の演奏家といわれる所以は、丑(うし)年の闘牛精神か。その半面で、静かに本を読むのが一番落ち着くと語るAB型。大阪芸術大学演奏科に特待生として学ぶ。新日本フィルハーモニーやNHK交響楽団の首席演奏者等と共演。北九州博覧会「100年シンフォニー」にて『1901シンフォニー』を作曲、演奏。数々のコンサートを企画・プロデュースする。中国や韓国から歌舞団を福山市に招き、中国地方での文化交流に尽力してきた。

平成30年度「家庭の日」作文・図画募集

健全で明るい家庭は、家族みんなで話し合い、家族みんなで楽しみ合い、家族みんなで力を出し合うことによって築かれます。

青少年育成広島県民会議では、毎月第3日曜日を「家庭の日」として定め、明るい家庭づくりの運動を展開しています。

この運動が広く地域に浸透し、多くの家庭で実践されることを願って、小・中学生が、家族や家庭について日頃思っていることや感じていること、家族と一緒に体験したことなどを作文や図画に表現した作品を募集します。



「家族みんなで豆まき大会をして楽しかった」
福山市立多治米小学校3年 吉山 颯祐

対象者 県内に在住の小・中学生

- 応募方法**
- 【作文】** ・400字詰め原稿用紙3枚程度とします。
・縦書きとし、はっきりと書いてください。
・題の次に、学校名・学年・名前(ふりがな)を記入してください。
 - 【図画】** ・作品は4つ切りの画用紙とします。
・画材は自由です。(クレパス、水彩絵の具等)
・裏面の「図画応募用紙」に記載し、作品の裏に貼付してください。
・作品のコメントも忘れずに記載してください。

応募締切 平成30年9月5日(水)必着

- 審査・発表**
- (1)応募作品は、審査委員会を設けて厳正に審査し、入賞作品を決定します。
 - (2)特選者には、青少年育成県民運動推進大会(10月27日開催)において、広島県知事から賞状及び賞品を授与し、併せて副賞として5万円の旅行券を贈ります。
 - (3)入選者には、賞状及び賞品を贈ります。
 - (4)応募者全員に、参加賞を送ります。参加校は必ず応募者の控えをお持ちください。
 - (5)入賞作品は、当県民会議発行の入賞作品集や機関誌など、広報用として活用させていただきます。

「少年の主張」・中学生話し方大会2018

国際化、情報化が急速に進み、環境が目まぐるしく変化する現代社会において、次代を担う子供たちには、論理的に物事を考える力、自分の主張を正しく伝える力、広い視野と柔軟な発想や創造性などを身につけることが求められている。この大会は、中学生が話すことによって伝える力を育み、学び合う機会となるとともに、意見発表を通して、中学生への理解と認識を深めてもらうことをねらいとしています。

入場無料です。ぜひご来場ください。

開催日時 平成30年9月8日(土) 9:30~15:30

開催場所 エソール広島
(広島市中区富士見町11-6)

対象者 広島県内の中学生

主催 公益社団法人 青少年育成広島県民会議、広島県中学校話し方連盟
独立行政法人 国立青少年教育振興機構

表彰 広島県知事賞、(公社)青少年育成広島県民会議会長賞、広島県中学校話し方連盟会長賞、国際ソロプチミスト広島会長賞、広島清流ライオンズクラブ会長賞(各1名)、優秀賞(6名程度)及び優良賞を選考し賞状を贈る。

副賞 この大会で、広島県知事賞、(公社)青少年育成広島県民会議会長賞、広島県中学校話し方連盟会長賞、国際ソロプチミスト広島会長賞、広島清流ライオンズクラブ会長賞を受賞した5名には、副賞(約1週間の海外研修)が(公財)広島青少年文化センターから授与される。
(期間) 平成31年夏休み期間(予定) (訪問先) 大韓民国(春川・ソウル)



平成29年度に発表された皆さん

青少年育成カレッジのご案内

受講料 無料

公立大学法人県立広島大学と連携して、「青少年育成カレッジ」を開講します。

青少年の心と健康、行動などを理解し、すこやかに育むための知識や技術を学びませんか。「わかりやすい」と受講者からは、好評です。



平成29年度開催の様子

平成30年度 総合講座の概要

今年のテーマは「ココロとカラダの栄養バランス」とし、第1回は「子どもの糧になるかわり」、第2回は「子どもが食べ過ぎると起こること」として開講します。

日程

[第1回]

平成30年10月6日(土) 10:00~15:30

[第2回]

平成30年12月1日(土) 10:00~15:30

受講資格

広く青少年に関わる活動や仕事をしている方、青少年育成活動に関心のある方

定員

各回100名(定員になり次第締め切ります)

履修保証制

所定の20単位(1講座1単位)を修得された方に、学習したことを評価して「認証状」を発行します。

会場

サテライトキャンパスひろしま
5階 502 大講義室

(広島市中区大手町1丁目5-3 広島県民文化センター)



〈アクセス〉JR広島駅から……………電車、バスで約10分
広島港から……………電車、バスで約30分
(電車は「紙屋町西」、バスは「紙屋町」で下車)
広島バスセンターから……………徒歩約3分
アストラムライン本通駅から……………徒歩約2分
山陽自動車道広島ICから……………車で30分

※公共交通機関をご利用ください。(会場及び付近の駐車場は有料です。)

青少年育成県民運動

●7月

「青少年の非行・被害
防止全国強調月間」

●11月

「子供・若者育成
支援強調月間」

●「あいさつ・声かけ運動」

「青少年の非行・被害防止全国強調月間」
キャンペーンポスター

各種会員の募集について

当県民会議では、青少年の健やかな成長を願って様々な活動を行っています。その活動資金を確保するため、各種会員制度を設けて、皆様からの温かいご支援を承っております。入会申込みについては、事務局にお問い合わせください。会費は次のとおりです。

■正会員

(年額) 個人 3,000円
団体 5,000円

■賛助会員

(年額一口) 個人 1,000円
団体 10,000円

銀行振込先

広島銀行県庁支店
口座番号 / (普通) 233251
口座名義 / (公社) 青少年育成広島県民会議

役員のご紹介(平成30年6月13日選任)

会 長	上田 宗 岡	上田宗箇流家元
副 会 長	徳 弘 親 利	広島市青少年健全育成連絡協議会会長
副 会 長	江 種 則 貴	中国新聞社編集局特別編集委員
常 務 理 事	藤原久美子	(公社) 青少年育成広島県民会議事務局長
理 事	岸 房 康 行	NPO 法人心豊かな家庭環境をつくる広島21理事長
理 事	吉 川 水 貴	NPO 法人青少年サポートクラブ理事長
理 事	木 村 清	青少年育成東広島市民会議会長
理 事	福 原 治	(公社) 青少年育成広島県民会議 前事務局長
監 事	末 本 朱 美	税理士
監 事	三好久美子	(公財) ひろしまこども夢財団理事長

ホームページ紹介

(公社) 青少年育成広島県民会議の活動を紹介しています。

詳しい情報はこちらから

<http://www.hiro-payd.or.jp>



広島県の青少年のマスコット
ゆっぴー

青少年育成指導者派遣事業について

県内の市区町民会議において開催される学習活動や講演会等に青少年育成指導者を派遣し、講演等を行うことによって青少年の健全育成や社会環境浄化の啓発を図り、県民運動の推進に資するものです。

市区町民会議が主催、共催、後援する講演会等で、参加人員予定者が最低50人以上の事業が対象です。

〈青少年育成指導者リスト〉

名前(住所)	職業・主な役職、プロフィール	専門分野、講演テーマ
安藤 周治 (あんどう しゅうじ) (三次市)	柏屋安藤製菓舗代表/NPO法人ひろしまNPOセンター代表理事/NPO法人ひろしまね理事/広島県生涯学習審議会委員/マツダ財団評議員/ひろしま国際交流サミット幹事/総務省過労問題懇談会委員/内閣府地域活性化伝道師/国土交通省水の里の旅のコンテスト審査委員長/コミュニティ政策学会理事	地域づくりやコミュニティ活動、集落・自治組織活動支援 「まちづくりから青少年を考える」 「私がかわり、まちがかわり」 「地域の宝、青少年と地域を創る」
石田 睦子 (いしだ むつこ) (三次市)	親業訓練シニアインストラクター/コミュニケーションリーダー・一級/三次市の不登校児童生徒の保護者の教育相談/学校評議員/三次市教育委員会社会教育委員/三次市個人情報保護制度審議会委員	子育て・親育てコミュニケーション「子どもの自立と意欲を育てる接し方」 「子どもに愛が伝わっていますか」 「子どもの未来の扉を開く」 「語りかけよう！親の本音」 「親業」子どもの安心・安全を守るために一学ぶ力・生きる力を育む一
今田 弘武 (いまだ ひろむ) (広島市)	日本けん玉協会西中国地区総支部長、国際指導員/日本けん玉協会認定八段/剣道四段(日本剣道連盟)/尺八師範(都山流)/広島県青少年育成アドバイザー協議会理事/小学校非常勤講師(人間力を伸ばすけん玉)	「心づくり・ともだちづくり」「じぶんづくり・がまんづくり」「けん玉で広島から世界へ」 「モンゴル・東アフリカ(ウガンダ、ケニア、ルワンダ、コンゴ)・中国内モンゴル自治地区、ロシア(ウラン・ウデ)、ベトナム(ハノイ・ホーチミン)「家庭の絆づくり」 「笑顔の平和づくり」
岩永 誠 (いわなが まこと) (東広島市)	広島大学大学院総合科学研究科教授 日本感情心理学会常任理事	ストレス心理学、実験臨床心理学、音楽心理学(音楽療法) 「青少年の心とケア」 「子どもの理解と保護者の関わり」 「現代青年の抱える「やさしさ」の病理」 子どもや青年の心の問題や発達に関する問題について
上村 崇 (うえむら たかし) (福山市)	福山平成大学福祉健康学部教授(哲学、倫理学、道德教育) 学校教育を研究対象に、教育現場と関わりながら道德教育、情報教育、安全教育、哲学教育について研究を進めている。	教育倫理学、情報倫理学、性の哲学道德教育、哲学教育 「学校における危機管理と安全教育」 「情報社会における安全教育」 「モラルの育成を阻害する社会的諸要因」 「哲学カフェ」
小田 長 (おだ たけし) (広島市)	広島市社会教育委員会議長/広島県キャンプ協会副会長/廿日市キャンプ協会会長/ボランティア論	青少年育成スーパーバイザー ・キャンプ場の管理運営 ・ボランティア活動について ・地域おこしのあり方
加藤 恒光 (かとう つねみつ) (東広島市)	日本写真協会会員、カメラマン ユネスコ、国際協力事業団などの派遣で開発途上の国々40カ国以上を撮影取材した。1983年総理府青年の船リーダーで参加 ナマステクラブ・ジャパン代表	地方の国際化のなかで異文化をどのように理解するか アジア諸国の訪問取材を通して学んだこと ネパール/タイ、ラオス国境に活動拠点建設
岸房 康行 (きふさ やすゆき) (広島市)	NPO法人心豊か家庭環境をつくる広島21 理事長/「公社」青少年育成広島県民会議理事/「株」広島ドラゴンライズ前代表取締役社長 広島県農業協同組合中央会前専務理事	・地域の未来を拓く地産地消 ・人格形成は家庭教育から ・何故 食育が必要なのか
吉川 水貴 (きかわ みき) (広島市)	(株)広島千茶荘専務取締役/NPO法人広島県就労支援事業者機構事務局長/広島佐伯警察署管内少年補導員連絡協議会会長/広島県「減らそう犯罪」推進会議委員/NPO法人青少年サポートクラブ理事長/暴走族少年並びにOBの青少年を対象としたサッカーサークル、パソコン教室を主宰/保護司	「暴走族から子ども達を守るために」 「非行グループと向き合うためのおやじクラブ」 「地域におけるおやじの役割」 非行や犯罪に関わった方の就労支援(薬物含む)
木村 隆司 (きむら たかし) (広島市)	少林寺拳法の修行を通して、青少年育成と教育に携わっている。 青少年育成の現場の体験を通して語りかける。 (宗)金剛禅総本山少林寺広島基町道院道院長/公益財団法人日本釣振興会理事/凜の会代表/草葬女性塾主宰/ミリオンエコー出版(株)代表取締役/「釣り画報」「ポートフィッシング」発行/元広島テレビアナウンサー	「凜として生きる」 「青少年問題について」 「今、世の中で気になること」 「ウソの時代に訣別を」 「今の時代と社会が失ったもの」 【新社会人向け】「君たちは大人になれるか」 「君たちを信じていいか」 「君は自分を信頼出来ますか」 「社会人が背負うべきもの」 【中高生向け】「オイ、そろそろ大人になろうじゃないか」
西平 孝治 (にしひら たかはる) (三次市)	酪農家/三次市子ども会育成連絡協議会/つるアート「風花」工房主宰 三次かっぱくらぶ・カヌー	「総合学習と農業」 「子育てと親の役割」 子ども会活動全般 野外活動の実技と指導
二宮 皓 (にのみや あきら) (広島市)	広島大学名誉教授/比治山大学・比治山短期大学部前学長/放送大学前理事・副学長/広島大学前理事・副学長/広島県教育委員会委員	比較・国際教育学 「世界からみた日本の家庭教育」 「心の教育—世界と日本—」 「世界の学校を旅する」 「学力を考える—世界の動向—」 「グローバル人材の育成」
藤枝 義記 (ふじえだ よしのり) (三次市)	元広島県立七塚原青年の家所長/生涯学習サポーター/文部科学大臣認定スポーツ・レクリエーション指導者/社会教育主事資格有	社会教育全般/集団活動の理論と実技/リーダー育成のための理論と実技/人間関係・仲間づくりの理論と実技/野外活動全般の理論と実技/子ども会育成に関すること(子ども会を育てることもと、その子どもを育てるおとなのあり方等)
藤野 完二 (ふじの かんじ) (岩国市)	環境省認定環境カウンセラー 元中国放送コメンテーター 環境省IPCCレポートコミュニケーター	・今、地球で起きている現実と子ども達の未来 ・環境学習と生きぬく知恵(ESD教育) ・環境の世紀を生きていくこと ・地球・温暖化問題の実状とこれから ・ふるしきの色・柄・使い方を通して和の文化の可能性を考えます。 ・川や森での環境問題をテーマとする体験学習指導
宮崎 文隆 (みやざき ふみたか) (三次市)	「逆手塾」事務局長/「東北レクリエーション協会」顧問/コミュニケーション能力1級資格取得/レクリエーションコーディネーター/「抱きしめて笑湖ハイツカ」実行委員長/キャンプディレクター1級指導者/里山創造研究会事務局長	「青少年が輝き まちが輝く」 「夢づくり、人づくり、ふるさとづくり」 「人間交流術入門」 「コミュニケーション力を磨く」 「夢それが輝爆剤」 「話し方の輝爆剤」 「課題を逆に！人をやる気にさせる力」 「里山資本主義の創造」 「元気の出る小さな拠点づくり」
三好 久美子 (みやこくみこ) (福山市)	余暇開発士/公益財団法人ひろしま子ども夢財団理事長/ひろしまNPOセンター副代表理事/ラーニングネットふくや代表	余暇、生涯学習、社会教育/ボランティア、地域づくり/「こころのギアアチェンジ」/「地域は子育て応援団」/「人が育ち、こころが育つ地域活動」/「人生、今が旬」/「出会って、知って、つながって」
山本 晃二 (やまもと こうじ) (福山市)	(有)ヘイセイリフォーム代表取締役(塗装業) (株)豊生取締役(足場業)	「罪を犯して失ったもの得たもの」 「罪を犯してもなお社会で生きていく為に」 「罪人が社会で生きるということ」
和田 晋 (わだ すすむ) (広島市)	広島市教育委員会教育センター主事(研修指導担当)/元公立中学校教員(国語科・生徒指導主事・学年主任等担当)/元広島市教育委員会青少年育成部/暴走族対策・自立支援担当主幹/元公立中学校校長(元校長会長)	課題を抱えた中学校に勤務し、長年広島市内を夜回りした経験から、多くの青少年の立ち直る姿に学んできた。その経験を基に、学校教育・家庭教育や地域連携に活かしたいと考えている。 安心・安全の学校づくり/一体感のあるチーム学校づくり/学校・家庭・地域の連携と再生/いじめ・不登校の対応方法/子どもの生活指導や自立支援等/「可能性を引き出す教育とは」/「みんなの関わりから学力向上を」/「学校再生を支援するPTA」/「みんなが輝く子育ての在り方」/「立ち直った子どもと家族の本音」/「元気が出る学校と地域の関係づくり」等